

1. 調査の目的

この調査は、市民と行政が一体となったまちづくりを推進するにあたり、市民の皆様のご貴重なご意見やご要望をお聞きし、明日の豊橋市のまちづくりに反映させることを目的として実施しております。

2. 調査の設計

- (1) 調査地域：豊橋市全域
- (2) 調査対象：市内在住の満 18 歳以上の男女
- (3) 標本数：5,000 人
- (4) 抽出方法：住民基本台帳から等間隔無作為抽出
- (5) 調査方法：設問紙にもとづく郵送法
- (6) 調査期間：平成 27 年 6 月 10 日（水）～7 月 3 日（金）

3. 調査項目

- (1) 豊橋市に対する愛着度と自慢度について（問 1～問 4）
- (2) 中心市街地の活性化について（問 5～問 6）
- (3) 文化振興について（問 7～問 9）
- (4) 市民協働によるまちづくりについて（問 10～問 12）
- (5) 多文化共生について（問 13～問 15）
- (6) 生涯スポーツの推進について（問 16～問 18）
- (7) 医療について（問 19～問 20）
- (8) 防災対策について（問 21～問 23）
- (9) お住まいの地震対策について（問 24～問 26）
- (10) 地域の生活環境について（問 27）
- (11) あなたご自身について（問 28～問 34）

4. 調査機関

公益社団法人 東三河地域研究センター

5. 回収結果

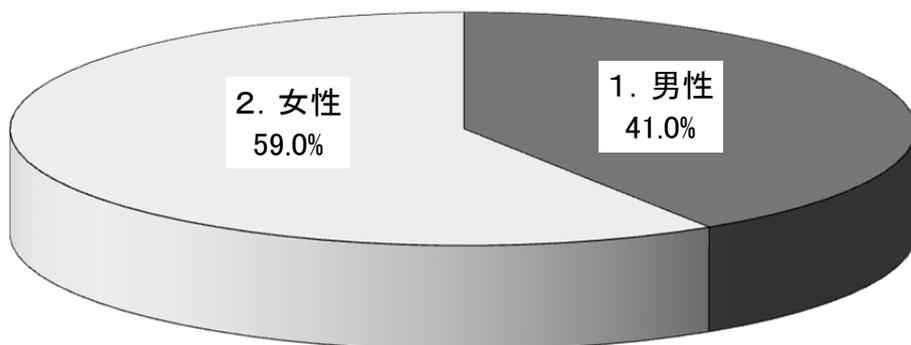
- (1) 回収数：2,500 人
- (2) 有効標本回収数：2,447 人（全問無回答及び属性のみ回答の標本は無効とする）
- (3) 有効標本回収率：48.9%

6. 報告書の見方

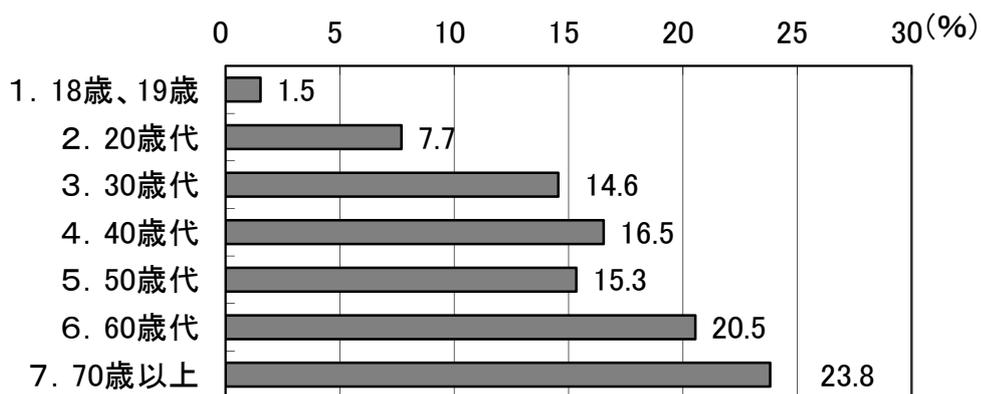
- (1) 集計結果はすべて、小数点以下第 2 位を四捨五入しており、比率の合計が 100%にならないことがある。
- (2) 複数回答を依頼した設問では、集計結果の合計が 100%を超える。
- (3) 回答比率（%）は、その設問の有効回答者数を母数として算出した。
- (4) 本文中の各設問の図中に示されている「n=〇〇」の数値は、当該設問の有効回答者数である。

8. 回答者の属性

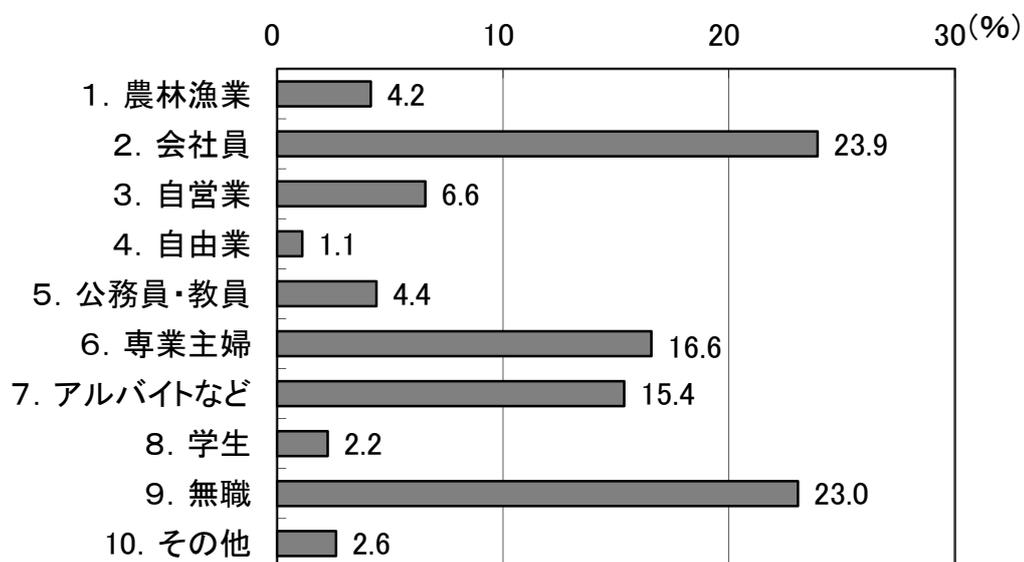
(1) 性別



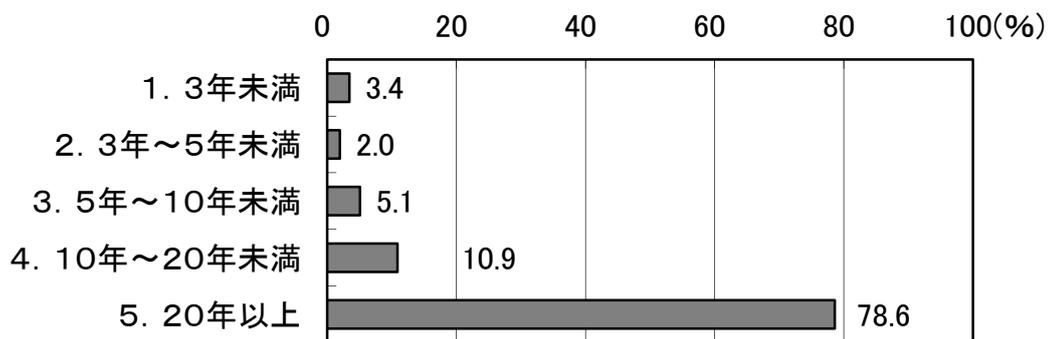
(2) 年齢



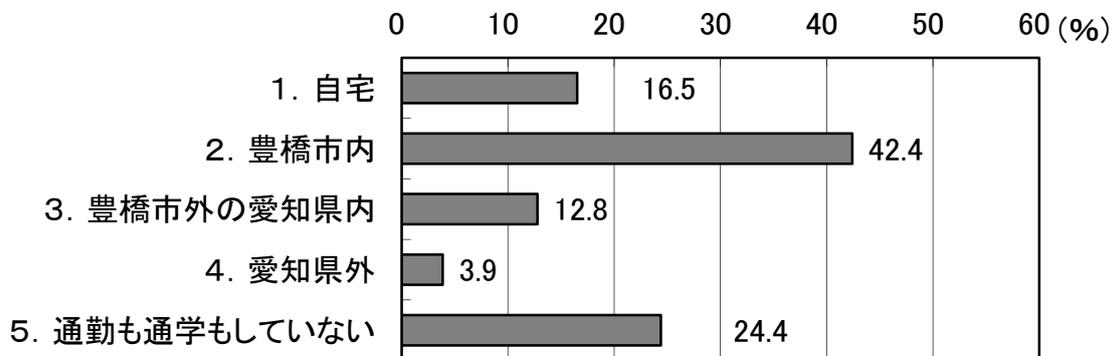
(3) 職業



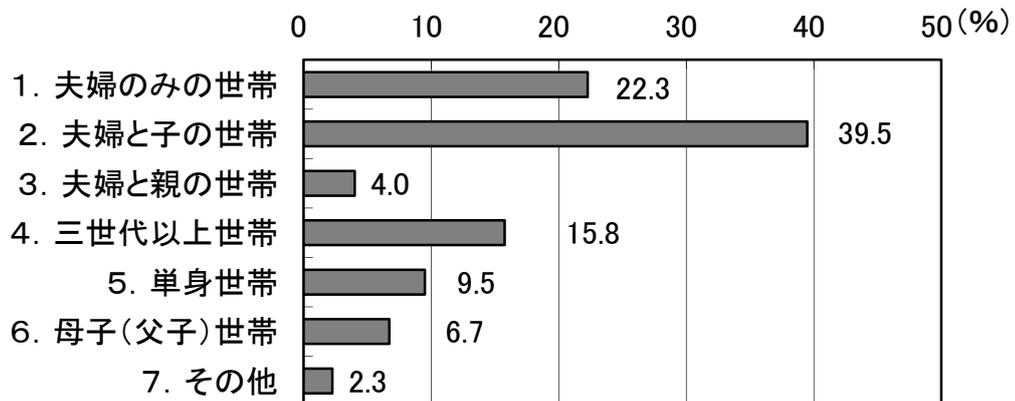
(4) 居住年数



(5) 就業地 (通学地)



(6) 家族構成



(7) 居住小学校区

No.	校区	回答数	%
1	岩田	73	3.1
2	豊	49	2.1
3	東田	53	2.3
4	旭	28	1.2
5	八町	25	1.1
6	松葉	40	1.7
7	松山	37	1.6
8	新川	28	1.2
9	向山	47	2.0
10	花田	51	2.2
11	羽根井	59	2.5
12	下地	41	1.8
13	大村	26	1.1
14	津田	27	1.2
15	吉田方	97	4.2
16	牟呂	77	3.3
17	汐田	37	1.6
18	高師	82	3.5
19	芦原	43	1.9
20	福岡	80	3.4
21	中野	36	1.6
22	栄	83	3.6
23	磯辺	63	2.7
24	大崎	15	0.6
25	植田	33	1.4
26	野依	36	1.6

No.	校区	回答数	%
27	大清水	48	2.1
28	富士見	40	1.7
29	牛川	55	2.4
30	鷹丘	71	3.1
31	下条	25	1.1
32	多米	57	2.5
33	岩西	44	1.9
34	つつじが丘	49	2.1
35	飯村	68	2.9
36	天伯	35	1.5
37	幸	98	4.2
38	前芝	26	1.1
39	石巻	28	1.2
40	西郷	26	1.1
41	玉川	40	1.7
42	嵩山	31	1.3
43	賀茂	23	1.0
44	二川	59	2.5
45	二川南	47	2.0
46	谷川	24	1.0
47	小沢	28	1.2
48	細谷	21	0.9
49	高根・豊南	52	2.2
50	老津	26	1.1
51	杉山	32	1.4
	合計	2,319	100.0